

富士金属 株式会社



代表取締役社長
山中 義孝

大阪府
豊中市原田中1-12-3

1968年(昭和43年)設立
06-6854-8651

複雑形状部品をプレス のみで行う鉄板の魔術師

超深絞りプレス加工技術により、1枚の平板から径の10倍以上の深絞りを行い、これまで溶接・ろう付・切削加工などによる複数工程が必要であった複雑形状等の金属部品をプレス加工のみで製造する優れた技術確立した。

過去の常識にない物づくりに挑戦する

金属の超深絞りプレス加工による金属部品製造を主たる事業とする。従来、溶接やろう付等でしか設計されていなかった部品を1枚の平板から深絞りプレス加工のみで一体化し、ろう付等を廃止した。パイプ加工における深絞りプレス、鍛造切削部品の薄肉深絞りプレス化による切削の廃止と軽量化など、革新的手法を用いて環境にも優しいものづくりを行う。

1年で日本の車を112トン軽量化

同社のプレス技術で軽量化された部品重量は推計年間174ト(内、車は112ト)になり、省資源、原価低減、燃費向上に貢献した。必要な部位に精度を保ちつつ薄板を持って行き切削加工を廃止し、従来機能を満足させながら軽量化を実現する技術が核になっている。



ろう付廃止、深絞り一体化部品

技術・技能を支えるのは人財

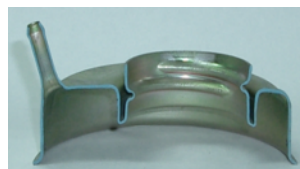
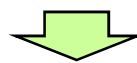
製造を支えるのは、熟練技能者と中堅の国家技能検定合格者、そしてそれに続く若い戦力。彼らは、ひとり1台のプレス機を管理する責任者となる。材料の選定から、金型の設置、製造工程の検討、試作、品質管理までを自分の判断で行う多能工として重要な役割を担っている。



断面写真



ステンレスの深絞りプレス加工品



3部品一体化



2本同時深絞り一体化部品